

<OCRを使った『勤務管理システム』について>

- OCRを使った勤務処理は働く人の「作業場所」が一定していない業態の企業様に有効です。例えば、運転手の派遣業様やホームヘルパー派遣業様などが上げられます。
- 就業者は作業報告書(別紙)を記入し、月1回の集計処理時本社に提出します。(但し、事前に所属長の承認は必要)
- 本社はこの月1回の読み取り処理以降が「勤務集計処理」の開始となります。
- 読み取り速度は機種によっても異なりますが、キャノン製DR2050Cは11人分を1分ぐらいで読み取ります。
- 読み取った個人別勤務データはテキストに変換出力され「勤務システムデータベース」に取り込まれます。以降の処理は通常の勤務処理とお考えいただいて結構です。
- 本勤務管理を運営するためには次の4つのサブシステムが必要です。

1. WinRender

ソフトメーカー:[メディアドライブ\(株\)](#)

手書き文字を読み込んで、テキストデータに変換するソフトです。

2. 勤務支援システム

ソフトメーカー:TJQ(弊社)

OCR読み込みシステムと「たんぽぽ」の中間に位置するシステムで個人勤務データの矛盾チェックやエラーチェックを行い、たんぽぽに渡すデータの精査作業を行います。

3. たんぽぽ

ソフトメーカー:[クロノス](#)

精査されたデータを取込み、再計算ボタンを押すだけで個人別月間勤務時間を集計します。

このシステムで ①個人別勤務表 ②月間勤務集計表 ③給与システム用個人データが作成されます。

4. 給与システム

ソフトメーカー:各社

①給与奉行([株式会社オービックビジネスコンサルタント](#))

②弥生給与([弥生株式会社](#))

③給与大臣([応研](#))

④PCA給与([ピーシーイー](#))

上記ソフトは、勤務集計システムたんぽぽが対応している給与システムの一覧です。